

代表者名	大井永吉	所管部課名	建設交通部 建設交通政策課
所在地	由利本荘市矢島町七日町字羽根21番地2	設立年月日	昭和59年10月31日

【沿革及び県の出資理由】

国鉄改革に伴い矢島線は廃止対象路線に選定されたが沿線住民の重要な交通手段であることから、県と関係市町が主体となり存続することで合意され、それぞれの出資により昭和59年10月31日会社を設立した。

【出資者】(18年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	38,500	38.5
由利本荘市	1	38,500	38.5
その他	12	23,000	23.0
計	14	100,000	100.0

【事業】

主たる業務

鳥海山ろく線の経営

事業実績

(百万円、人)

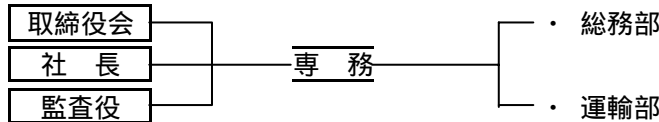
事業名等	15年度	16年度	17年度
旅客運輸収入	81	85	83
輸送人員	342,229	408,987	377,132

17年度事業概要及び18年度事業計画・目標

輸送人員は前年対比で8%減少となる・旅客収入は4%の減少となった。  
開業20周年を記念し乗車券類を販売し運輸雑収は増収になった、経費は石油製品の高騰で前年より増えた。  
前年の発生した「矢島架道橋」の損害賠償費を受領した。経常損失は前年より増え、当期では443千円の黒字となった。

【組織】

運営機構



役員数

(人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者		
非常勤	7	2
内、県退職者	0	
内、県職員	1	
計	8	2
内、県関係者	1	0

職員数

(人)

正職員	17	正職員平均年齢	40歳
内、県退職者	0		
出向職員	6		
内、県職員	0		
臨時・嘱託		正職員平均勤続年数	11年
内、県退職者			
計	23		
内、県関係者	0		

【財務】

損益状況(17年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	90,362
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	82,617
運用益収入	
その他	7,745
経常支出 B	166,924
人件費	102,268
その他	64,656
経常損益 C = A - B	-76,562
経常外収入	144,684
経常外支出・諸税	67,679
当期損益	443

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額
37	0

財務状況(17年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	92,744	42.7
固定資産	124,531	57.3
資産計	217,275	100.0
流動負債	95,491	43.9
短期借入金	39,472	18.2
固定負債	17,889	8.2
長期借入金	17,889	8.2
引当金等	41,724	19.2
負債計	155,104	71.4
資本金	100,000	46.0
剰余金	-37,829	(17.4)
資本計	62,171	28.6
負債・資本計	217,275	100.0

(千円、%)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	23,424	23,424	100%

【県の財政支出】

(千円)

	15年度	16年度	17年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	69,351	54,854	61,814	鉄道近代化設備整備補助金・地方鉄道運営費補助金
委託費				
貸付残高				

## 1 主な経営指標

項目		単位	15年度	16年度	17年度	15-16増減	16-17増減
健全性	自己資本比率	%	33.77	26.38	28.61	7.39	2.23
	借入金依存率	%	42.03	27.60	26.40	14.43	1.20
	流動比率	%	73.20	92.77	97.12	19.57	4.35
収益性	剰余金(欠損金)	千円	40,525	38,270	37,829	2,255	441
	経常利益率	%	85.63	81.80	84.73	3.83	2.93
	総資本利益率	%	42.06	31.67	35.24	10.40	3.57
発展性	経常収入額	千円	86,511	90,596	90,362	4,085	234
効率性	総資本回転率	%	0.49	0.39	0.42	0.10	0.03
	職員1人当たり経常収入	千円	3,460	3,624	3,614	163	9
	人件費比率	%	114.73	111.53	113.18	3.20	1.65

## 2 経営目標の達成状況

経営目標			15年度	16年度	17年度	18年度
経営改善指標	経常損失額(千円)	目標	81,600	75,000	81,230	85,000
		実績	74,081	74,106	76,563	
経営改善指標	経常収支比率(%)	目標	188.21	182.40	194.50	202.80
		実績	185.63	181.78	185.00	
事業成果指標	定期外(団体扱い)輸送量(人)	目標	4,000	4,800	5,000	5,700
		実績	4,184	3,358	3,295	
	定期外収入(千円)	目標	32,000	29,000	28,100	27,790
		実績	28,698	27,123	24,945	
顧客満足度指数	目標	-	-	-	63.0	
	実績	-	-	61.6		

## 3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

輸送人員は前年対比で8%の減少となった。特に無人駅利用のワンマン扱いの落ち込みが見られた。

通勤定期は前年より増加し、今後の増加も期待したい。全体の輸送量の確保が課題となる。運輸収入は全体で4%減少となった。通学定期収入の増加は望めないが、定期外収入の増収を図ることが課題となり、又運輸収入以外の部門(旅行・広告・諸手数料)の増収策を検討実行する必要性が課せられてきている。

由利本荘市と具体的計画を建て一つ一つ達成し、増収を図りたい。

## 4 総合評価(計算書類等の資料及びヒアリングによる評価)

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
補助金収入による黒字体質はできつつあるが、経常利益は引き続きマイナスとなっている。輸送量の確保が急務である。	